

子ども服交歓会を通して、 子どももの成長を喜び支えあり

独立行政法人福祉医療機構(WAM)が行う社会福祉振興助成事業(WAM助成)は、国庫補助金や寄付金を財源とし、高齢者・障害者などが地域のつながりのなかで自立した生活を送れるよう、NPOやボランティア団体などが行う民間の創意工夫ある活動などに対し、助成を行っています。今号では、WAM助成を活用した認定NPO法人彩の子ネットワークの取り組みを紹介します。

安心して子育てできる 地域づくりに取り組む

埼玉県上尾市にある認定NPO法人彩の子ネットワークは、「あなたが大切、だからあなたの子育てが大切」というスローガンのもと、子育てしている母親が自分の思いを声にし、さまざまな人とつながりながら、安心して子育てができる地域づくりに取り組んでいる。同法人の活動は、平成11年に埼玉県内の子育てサークルにネットワークづくりを呼びかけ、任意団体を発足したことに始まる。平成14年にNPO法人化、平成30年には認定NPO法人の認可を受け、上尾市とさいたま市を

中心に県内全域で活動している。

平成12年からさまざまな分野の関係団体や企業と実行委員会を立ち上げ、子育てイベントの「子ども☆夢☆未来フェスティバル」を毎年3月に開催しており、毎回1万人ほどの参加があるという。

現在の主な事業は、「上尾市つどいの広場あそぼうよ」(上尾市補助事業)と、「さいたま市子育て支援センターみぬま」(さいたま市委託事業)の2カ所の地域子育て支援拠点の運営をはじめ、「子育てサロン」や赤ちゃんサロン「ベビコミ」、ひとり親を対象にした「シングルマザーサロン」を定期的開催するほか、保育ボランティアの育成事業・孫育て講座の開催、子育てに関するセミナー活動などを行っている。

子ども服の提供を介した 子育て支援

同法人は、令和元年度のWAM助成を活用し、「『おおきくなったね!×おおきくなったね!』子ども服交歓会事業」を実施した。同事業は、安心して子育てできる地域づく

ひと言

WAMから

安心して子育てできる地域づくりを行うことを目的に事業を行いました。子ども服交歓会では子どもが服を選ぶ時間を設けるといった楽しみながら参加できる工夫をしたほか、助産師会と連携し、妊婦や新生児の保護者を対象とした相談ができる交歓会を開催するなど、着られなくなった服を提供するだけでなく、情報提供や必要な支援につなげることができたことは高く評価できます。

助成事業により作成された概要パンフレットやマニュアル冊子を活用し、他地域にもこの活動が広がっていくことを期待します。

りを行うことを目的に、①「おおきくなったね!×おおきくなったね!」子ども服交歓会の開催、②「こんにちは赤ちゃん」交歓会の開催、③概要パンフレット・運営マニュアル・紹介映像集、報告書の作成を行った。

「子ども服交歓会」は、子どもが成長して着られなくなった服を無料で預かり、次の世代の子どもたちに無料で提供する事業で、DV等の被害で衣服をもたずに自宅を飛び出した親子に服を提供する「ベビーズバンク」として始まり、平成29～30年度に上尾市との協働事業「子ども服交歓会プロジェクト」として実施してきた。

助成事業を実施した経緯について、理事の





駅コンコースで開催した子ども服交歓会。多くの人に活動を知ってもらえる機会となり、服の提供を受けたり、新たにボランティアとして活動に参加する人の発掘にもつながった



会場内に設置した手作りコーナーで工作する親子の様子

鈴木玲子氏は次のように語る。

「子ども服交歓会は、DV等の被害を受けた親子へ服を提供することから始まりましたが、『お下がりをもらうだけではさみしい』という意見から、事業名を『おおきくなったね!×おおきくなってね!』とネーミングすることで、ただ服をもらえるだけでなく、子どもの成長を喜び、他人の子どもの成長を願う気持ちのやりとりから、人と人がつながる場所として開催してきました。助成事業では、これまで開催してきた子ども服交歓会に加え、妊婦や新生児の保護者を対象にした助産師に子育ての相談ができる交歓会を開催するとともに、活動を全国に広げていけるよう概要パンフレットや運営マニュアルなどのツール作成に取り組みました」（以下、「」内は鈴木理事の説明）。

開催の準備として、「子ども服交歓会」の開催案内や着られなくなった服の提供、ボランティアスタッフを募る案内チラシを作成

し、公共施設をはじめ、保育所、幼稚園、小学校、児童館、図書館など108カ所に配布した。上尾市子ども支援課の協力により、市内の全小学校へ案内チラシを配布することができたという。

さらに、開催前にはプロジェクトミーティングを開き、スタッフとボランティアが、集まった服の仕分け作業やコーディネート、円滑な運営に向けた検討を行った。

「子ども服交歓会」を駅コンコースと小学校で開催

乳幼児から小学生までの子ども、保護者等を対象にした「子ども服交歓会」は、上尾駅コンコース（4回）と上尾市立富士見

生までの子ども、保護者等を対象にした「子ども服交歓会」は、上尾駅コンコース（4回）と上尾市立富士見

事業概要

助成額
73万円

令和元年度事業

認定NPO法人彩の子ネットワーク

「おおきくなったね!×おおきくなってね!」子ども服交歓会事業



【事業概要】

子どもが成長して着られなくなった服を無料で預かり、提供する「子ども服交歓会」を開催し、子どもの成長を喜びながら子育てに関わるボランティアの掘り起こしを行い、安心して子育てができる地域づくりを推進する事業



【実施内容】

- ◆「大きくなったね!×大きくなったね!」子ども服交歓会の開催
新生児から160cmサイズの子どもの服を無料で預かり提供する、子ども服交歓会を開催するとともに、参加した親子が楽しめるイベントを実施
- ◆「こんにちは赤ちゃん」交歓会の運営
妊婦や新生児の保護者を対象にした「こんにちは赤ちゃん」交歓会を開催し、ベビー服やグッズを提供するほか、助産師による相談対応や子育て支援の情報を提供
- ◆概要パンフレット・マニュアル冊子・紹介動画の作成
子ども服交歓会の取り組みが全国に広がるよう、活動内容を紹介したパンフレットや運営マニュアル、紹介動画を作成

【成果】

- ◆5回開催した子ども服交歓会は、乳幼児から小学生までの子どもや保護者など、延べ574人が参加した
駅コンコースでの開催により、多くの人たちに「子ども服交歓会」を周知することができ、活動を知った多くの人がボランティアとして参加してくれることにつながった
- ◆妊婦と新生児の保護者を対象にした「こんにちは赤ちゃん」交歓会は2回開催し、延べ29人が参加した。助産師による相談対応のほか、子育て支援の情報を伝えたり、参加したひとり親を同法人が運営する「シングルマザーズサロン」への参加につなげることができた
- ◆作成した概要パンフレットは、全国の各市区町村の子ども支援課や社会福祉協議会など延べ3983カ所に配布した。また、「子ども服交歓会」の開催手順や準備、ポイントなどの運営ノウハウをまとめた冊子「子ども服交歓会運営マニュアル」を作成し、法人HPで公開するとともに、開催を希望する団体等に配布した

小学校（1回）で計5回開催した。会場内には、ボランティアスタッフがコーディネートした新生児から160cmサイズの服を男女別・サイズごとに展示し、参加者はおしゃれを楽しみながらほしい服を選んだ。そのほかにも会場内には、親子で楽しめる手芸や工作などの手作りコーナーや、親が服を選んでいる間にスタッフが子どもの見守りを行うキッズコーナーを設けたほか、小学校での開催時には、地域で活動している劇団と連携し、あそび歌や人形劇、ミニコンサートなど、子どもたちが参加できるプログラムをあわせて実施した。





小学校で開催した子ども服交歓会。地域で活動する劇団と連携し、あそび歌や人形劇、ミニコンサートなど、子どもと一緒に参加できるプログラムを実施した



スタッフに相談しながら、自分で服を選ぶ子どもの様子



妊婦や新生児の保護者を対象にした「こんにちは赤ちゃん」交歓会では、ベビー服・グッズを提供するほか、助産師による相談対応や子育て支援の情報提供を行った

服の提供方法としては、参加者は選んだ服を「お渡し場所」にもっていき、名前と服の点数を記載する「お渡しカード」とアンケートを記入することで服を受け取ることができ。受け渡しは1回の手続きにつき10着までとしており、手続き後に何回でも服を選ぶことが可能となっている。

「子どもが着ている服は、実際は親の好みであったり、生活困窮する家庭であればデザインよりも長い間着られるように少し大きめの服を選ぶことも少なくありません。保護者の意見に左右されず、子どもが着たい服を自分で選ぶことは非常に大事なことで、その子自身の表現を豊かにすると考えています。そのため、小学校で開催した際には保護者の同伴を制限し、子どもたちだけで服を選ぶ時間を設けました」。

計5回開催した「子ども服交歓会」には、延べ574人が参加し、毎回約2000点のサイズアウトした服やグッズを次の世代の子どもたちに届けることができた（子ども服の提供は計8563着）。

「子ども服交歓会」は、駅コンコースと小学校の2カ所で開催し、駅コンコースはさまざまな人たちが行き交うため、多くの方に活動を知ってもらえる機会となり、活動を知った方が服を提供してくれたり、後にボランティアとして活動に関わるなど、ボランティアの掘

り起こしにもつながったという。

「室内で開催する小学校の場合、天候に左右されず、快適に開催することができ、服の交歓会に加えて、さまざまなプログラムを実施しやすいなど、それぞれに利点がありました。また、開催のたびに、お渡しした服と同じだけの服を参加者に提供していただくことができました。その要因として兄弟・姉妹や親戚付き合いなどが少なくなるなか、成長して着られなくなった服を渡す相手がないことや、服の提供が人の役に立つという活動が浸透していることもあると思います。そういう意味では時代とマッチし、SDGsの視点に立った事業でもあると考えています」。

妊婦・新生児の保護者を対象にした交歓会を開催

妊婦と新生児の保護者を対象にした「こんにちは赤ちゃん」交歓会は、上尾市市民活動支援センターで2回開催し、延べ29人が参加した。

ベビー服をはじめ、抱っこ紐やベビーカー、おもちゃなどのベビーグッズを提供するとともに、子育ての不安が大きい参加者に対して、助産師による相談コーナーを設置したほか、子育て支援に関する情報提供を行った。

「毎回100人以上が参加する『子ども服交歓会』に比べると、ゆっくりと話ができることもあり、助産師に相談する参加者は多く、妊婦さんが自分の母親と一緒に参加して子育ての相談をされる方もいました。また、ひとり親のなかには、日々の生活が忙しく、子育て



感染症対策に配慮しながら 活動を継続

助成事業の成果としては、これまで取り組

さらに、映像でよりわかりやすく活動を伝えるため、子ども服交歓会の紹介動画のほか、交歓会で起きたエピソードを劇化した「たね！×てね！劇場」の動画を撮影し、YouTubeで視聴することが可能となっている。

そのほか、子ども服交歓会の取り組みを広く周知し、活動を全国に広げていくために「交歓会概要パンフレット」、「交歓会運営マニュアル」を作成した。

活動内容を紹介した「概要パンフレット」は6000部作成し、全国各都道府県と市区町村の子ども支援担当課、社会福祉協議会など延べ3983カ所に配布するとともに、法人ホームページに掲載している。また、「子ども服交歓会」を他地域でも開催できるように、開催手順や準備、運営のポイントなどのノウハウをまとめた「子ども服交歓会運営マニュアル」を作成し、開催を希望する団体に配布した。

活動を広げていくための ツールを作成

で支援や生活に関する情報をもたない人も少なくありませんが、参加したひとり親に対し、当法人が運営する『シングルマザーズサロン』を紹介し、利用につながったケースもありました。

全国的な規模の 活動にしていこうと目指す

認定 NPO 法人彩の子ネットワーク
理事 鈴木 玲子氏



今後の展望として、食を介した子育て支援では子ども食堂の取り組みが広がっていますが、衣類を介したものはあまり多くないため、子ども服交歓会を全国的な規模の活動にしていきたいという思いがあります。

当初の計画では、WAM 助成を活用する3年間で資金面において自立していく体制をつくる予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、活動の修正を余儀なくされ、遅れてしまっている現状があります。行政の補助事業化に向けた働きかけをあきらめずにチャレンジしていくとともに、SDGsの視点から企業とつながりを強化することで継続的に運営できる体制を構築していきたいと考えています。

「子ども服交歓会は、ただ服を提供するのではなく、参加者がともに子どもの成長を喜びあい、さまざまな人とつながることにより子育てで孤立することを防止する目的がありますが、そのような意図や目的を広く周知できたことは大きな成果となりました。子ども服交歓会は、毎回20〜30人のボランティアの方が関わり、会場の設営や服の仕分け作業、コーディネートなど、ボランティアの力で成り立っています。活動に携わってくれるボランティアを新たに発掘することにもつながっています」。

同法人は、令和2、3年度もWAM助成を

活用し、「子ども服交歓会」の活動を継続している。新型コロナウイルスの感染拡大により、多くの人が行き交う駅コンコースでの開催ができなくなるなか、感染症対策に配慮しながら少人数の完全予約制での開催やオンライン開催することに取組んでいるという。

安心して子育てできる地域づくりに取り組み同法人の活動が全国に広がることが期待される。

◆団体概要

〒362-0014 埼玉県上尾市本町2-13-8 根貝戸団地1階
TEL: 048-770-5272
FAX: 048-770-5270
URL: <http://www.sainoko.net/>
設立: 平成14年11月(任意団体: 平成11年)
代表理事: 関 昌美



社会福祉振興助成事業に
関するお問い合わせ

●NPO リソースセンター

NPO 支援課 (助成事業の相談・募集、NPO の融資相談等)
TEL: 03-3438-4756 FAX: 03-3438-0218 (共通)

NPO 振興課 (助成事業の広報、事業評価等)
TEL: 03-3438-9942 FAX: 03-3438-0218 (共通)

NPO等の民間福祉活動への
応援よろしくお祈りします!

当機構では
寄付金を募集
しています



お問合せ先: 03-3438-0211 (総務部総務課)

